

お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、このたびはご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、誠にありがとうございます。

今回ご意見を頂戴した中で、一部ご紹介させていただきます。

『担当の方が違ったようで、作業の詳細を聞かれました。こちらも連絡が伝わってなかったのも悪いのですが、カルネなどで分かるようにしておいてください』

弊社内での情報共有不足でお客様にお手数をおかけしてしまい、申し訳ございません。現在、全てのお客様の事細かな情報が分かるように、新たな顧客情報管理システムを立ち上げました。全社員が統一してお客様情報を明確に把握出来るように徹底してまいります。

『お世話になり、数年経ちます。最初の頃は細かく施工していて、鮮やかなプロの仕事でした。ここ数年になり、ペイトを店のあちこちに目に付くほどで乾くと汚く見えます。同じ場所に上塗りすることは無いのでしょうか？』

貴重なご意見、誠にありがとうございます。お客様に不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。更新作業の際は、付いていたペイト剤を剥がし、同じ場所に同様の施工をしております。今後社内施工スタッフで打ち合わせていき、「汚い」「見苦しい」といった不快感を与えるような事がないように、見えない施工を心がけます。

『土日祝日を休みにする、とても大変な事だと思います。でも、会社を良くしよう、従業員を幸せにしようという試みはとても素晴らしい事です。今後も引き続き色々チャレンジして下さい！』

嬉しいご意見誠にありがとうございます。経営理念である「地球にやさしく、人にしあわせ」をもとに、これからも様々な取り組みにチャレンジしていきます。ただし、お客様のご要望によっては土日祝日の対応もしております。その際は平日で代休をきちんと取る仕組みづくりもしております。今後もお客様にご満足頂けるように誠心誠意務めさせていただきます。ありがとうございました！

掲載スペースの関係で一部のご報告となりますが、多数のご意見をいただき大変ありがとうございます。いただいたご意見・ご指摘・ご雑言は今後の業務に生かしていきます。

宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

昨年2月よりアンケート調査を毎月行っております。引き続き協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらもご利用くださいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専用FAXフリーダイヤル

見ないムシ

0120-32-3164

※一部八景以外はご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

FCC News

2013年12月号 No. 0116



London

お客様アンケートご報告

社長コラム&社員コラム

季節のムシ暦(72)

生活の豆知識

FCC商品紹介

株式会社FCC



〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
Tel 0466-31-3164
Fax 0466-31-3174
URL <http://www.fccsystem.co.jp>
E-mail info@fccsystem.co.jp

社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

岐阜

先週は岐阜・名古屋へ出張でした。岐阜は害虫駆除の学会へ参加です。



私は業界団体へは一切加盟しておりません。でもこの学会だけは毎年参加しています。

あまり知り合いもおらず、一般講演は???も多々あります。今後参加はどうしよう?とか考えていました。

でも横の繋がりがなければ製品展示は見えておく必要がある。またシンポジウムも聴く必要があると感じました。

今年は「野生鳥獣害対策の現状と市場性」でした。私としては屋外の生き物を殺さないポリシーを持って仕事をしています。

認識として鳥獣害被害は、環境だけがもたらしているものと理解していました。広葉樹林の伐採、里山問題…

このシンポジウムでは荒廃山林は回復していることを言っていました。鹿や猪などは極端に増え、農地への被害は深刻とのことでした。

野生鳥獣害対策は、もはや「業」として取り組まなければならないと訴えていました。野生の生き物を殺すことは、なんとなくタブーな話題です。

しかし、農業従事者にとっては死活問題。生き物が無駄死にならない方が必要と思えました。

ただし分からなかったのが、個体数のだけで大正、昭和初期が一番少なかった、江戸時代やその前は今回と同じくらいの個体数だった、と、生息数のグラフが出ていました。

でもその時代の野生鳥獣の個体数を誰が調査したんだろう?って、分らないこともある(笑)

折角、岐阜・名古屋に行ったので、空いている時間を利用してお城を観ました。宿泊先は岐阜城のそばです。

金華山は歴史好きの私的には感慨深いものでした。稲葉山…国盗り物語ですね♪

岐阜城、ついでに清洲城にも行きました。でも画像は載せません。だって歴史的建造物ではないからです。

清洲に至っては、建っていた場所まで違うし「城」::熱い城と変わりありません。でもまあ色々事情もあるだろうし…

タクシーの運転手も面白かったし…(´▽`)今度話します。

パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

FCC社員コラム

サトル主任の初志貫徹日誌 ガスファンヒーター

前日、社内に新しいアイテムが加わりました。社内の環境とエコを考えて導入されたのがガスファンヒーターです。

事務所には、転居した際にエアコン2台を設置して使用していましたが、やはり足元まで暖かさが届かなかったり、全体に行き渡らないということがあります。

また、ガスは電気をおさえて低燃費で使用出来るコストもおさえられるので、大きなメリットがあります。

プラズマクラスターもついていて、空気をきれいにしてくれます。人も多く増えて、月曜や金曜の人が多く集まる時には非常に活躍すること間違いありません。

数日前から非常に寒さがまして、必要な時季がやってきました。これも、いろいろなことに目を傾ける社長や会社の方針が、取り入れていただいたのだと思います。

これからも、環境や社内に目を向けた姿勢を自ら学んで行かなければならないと感じました。いつも、ありがとうございます。

【ヒトにとって虫とはどんな存在なのか】

私達の日常生活の中で、人は別として、接触の機会が多い動物は、「虫」なのかもしれない。その証の一つとして、生活の中で無意識に用いている俗語に、「虫」に関する言葉が少なくない事だ。

例えば、「虫が好かない」、「虫が堪(コラエ)ぬ」あるいは「虫が害(ス)わる」などと50を越している。また、虫の問題性も「虫に刺された」に始まり、食べ物にこんな虫が、入っていたとか、沢山いて気味が悪いなど、常々、話の種には事欠かない状況である。

しかし、では、今年話題になった虫は、と問われると直ぐには思い浮かばない存在でもある。でも、特段異常多発生した訳でも無いが、新聞記事などで記憶に残るのは、「スズメバチに襲われた」話や混入異物事故の「コバエ類(クロバネキノコ(エであった))の話が、すらすらと出てくる。

どうも、人は「虫」といえば「刺す」とか「咬む」など悪いことばかりを思い出すようだ。本当に、そんなに悪いだけのものなのか、今一度、見直しが要りそうだ。

その昔、今から約60年もの前、私は大学で「応用昆虫学」と言う講義の中で、「重要害虫」は、世相によって変化して行くものであると聞くことを聞いた。

また、その変化に関する要素は、微小なもの、その発生型、抵抗性、潜伏場所などである。農業分野では土壌虫(表に姿を見せない)であろうという話であった。

その折には、それほど関心もなく、よく理解できなかった。しかし、今頃になって、ようやく判りかけて来たようだ。

昨年、日常生活の中で起こる、人と虫とのトラブルには、かつての「伝染病予防法」と称する法律が機能していた時代とは、その問題の性質が違ってきたようだ。

例えば、住宅地での「スズメバチ騒動」だが、それは山客が、地形が変わる程の「都市開発」が見られるまでは、話題にすらならなかった。

都市型化の波が、「環境」を変え、人とハチの共存のバランスを崩し所産である。これこそ、世相の変化がもたらせた、造られた問題害虫なのだ。

この事は、事実であるとしても、このまま納得して良いものなのか、比如は、考えなければいけない所である。

虫達は、環境の変化に耐えて、新たな環境に「適応」して来たが、人の側には異変を機械の無いまま対策が後手に回り、被害を直撃し引きずり、今に至っている。

住宅地の「スズメバチ対策」は、ハチの巣の駆除だけが、手段では無いだろう。その前に、「何故」こんな場所に考える必要がある。

この「なぜ」をしっかり考える事で、次の被害を著しく軽減する事につながる。今日、害虫は、ただ駆除するだけでは無く「被害回避」の方法も考えるべきなのだ。

生活の場の「虫」は、その種類も多く、始めから悪者では無く、多くはごく普通の「虫」である。

それが、その発生する場所や発生量によっては「問題種」や「害虫」にする。現実には普通の虫を「問題種」にした原因を調べてみると、その原因は、人が造り出している場合が、すくなくない。

最近では、話題にならなくなったが、以前、「ハエ類」が「ごみ埋立地」で大発生し、しばしば騒動を起こしたことがあった。

これは、ハエの発生源になる一般家庭の「生ごみ」を毎日、回収し埋立地で処分する方法で、家庭から「ハエ」は姿を消した。

しかし、その埋立地で大発生を繰り返し、周辺に大量に逃げ出し、問題になった。これは、人が埋立地で守るべき手段を実施しなかった人為的な事故であった。

今日のように、環境設備が整った状況下では、「虫」の姿を見て「害虫」と決めつけて、直に防除という手段をとらなくことだ。

まず、その虫は、「何故」発生したのか、その原因を究明することが先なのだ。虫は、環境の健康度を調べる指標なのだ。

今年は、珍しく数例の「虫刺され」の相談があった。

その背景は、畳の部屋に仮眠をしたと言うもの、ベットを倒し始めてからと言うもの、しばらく家を空けていてと言うものであった。

かなり以前、住宅の「ダニ騒動」があって、採取した「室内塵」を調べ「ダニ」の多さに驚いたが、今回は、穀物混じりのジンサンシバムシの死骸が目立ち、中にシバムシシアリガタバチが、かなり居た。

量が、シバムシの発生源かと想定していたが「ごみ」の質から判断すると、どうも量だけでは無さそうだった。

どうも、シバムシシアリガタバチ退治は、収納庫の保管食材や家具類の調査が、必要な状況であった。

シバムシシアリガタバチは、シバムシの幼虫に寄生する虫で、どうもそ活動期は、7月上旬から9月上旬のようだ。その生活史の概要は、図※1の通りだ。

今年のように、暑い夏が続くと被害が、多発するようだ。この異常気象は、今年だけに止まりそうにもなくこれが普通となる可能性もある。

シバムシシアリガタバチによる「虫刺され」は、「虫」は、生活の場の変異を教える「物指し」かもしれない。

【写真説明】



図※1

生活の豆知識

越冬の為屋内に侵入して被害虫防メシ

皆様こんにちは。

そろそろ秋も終わりに近づき、本格的に冬へと季節が移り変わろうとしているこの季節。この時期は、寒い冬を越す為に、屋内に昆虫が侵入してくる事が多くなります。

その昆虫の中でも、悪臭を放ち皆様を困らせる害虫『カメムシ』をご紹介します。



～カメムシ類の特徴～

カメムシ類は、セミなどと同じ半翅目（はんしもく）に属する昆虫の総称で、日本ではおよそ800種が知られています。その多くは、危険を感じることにより悪臭のする分泌物を排出します。

この分泌物は外敵に対しての防衛手段として、または一種の警戒フェロモンとして作用していると考えられています。最近では山林などの観光開発や住宅開発により、不快害虫としての被害が増大しています。

越冬の為、家屋に侵入してくるカメムシの中に、クサギカメムシという種があります。体長は14～18mm程で、多食性で北海道を除く全ての地域に生息しています。11月頃の晩秋になると越冬の為、群れを成して家屋内に侵入して度々問題になります。

～防除しましょう～

種類も多く、その食性も多岐に及び、発生源を特定しての駆除はとても困難です。その為、屋内への侵入を防ぐことが重要です。

クサギカメムシは、晩秋の日当たりの良い建物の外壁に飛来し、窓の隙間や換気扇口・給排気口等、建物の僅かな隙間から侵入してきます。そこで、一番初めにカメムシが飛来する外壁に残効性に優れた殺虫剤を塗布します。

その上で、侵入口となりうる換気扇口や給排気口、建物の隙間等にも粉剤を仕掛けていきます。殺虫剤の有効期限を把握して、繰り返し行うことが重要です。雨が降ると流れてしまいますので、雨上がり後にも処理をお願いします。

それでも全ての隙間をカバーする事は不可能ですので、侵入されてしまう可能性もあります。屋内に侵入したカメムシは、低温時は物陰に潜んでいますが、室温が上がってくると天井や壁を徘徊したり、照明の周りを飛び交ったりします。

もしも侵入を許してしまった場合は、危険を察すると悪臭を放つ為、刺激しないようにそっと外へ逃がすと良いでしょう。また、即効性に優れた殺虫剤を直接噴射して駆除するのも有効です。

冬場に侵入し、越冬したカメムシは春先にも同様の被害をもたらしますので、侵入してくる時期である今、しっかり対処する必要があります。

FCC商品紹介

毎日使われるお板やダスターの
毎日の漂白にオススメです！

業務用 テルロンブリーチ5
(食品添加物)



1CS : 3,129円
※1CS/3個入り

1ケースに3個入りでこの金額ですので、コスト面でも非常にお得です！

塩素系除菌剤であるテルロンブリーチ5で毎日まな板やダスターなどを漂白して頂く事で、食中毒発生予防にも繋がります。

使用法は通常の漂白剤と全く変わりません！テルロンブリーチ5を水で希釈した所にまな板やダスターを漬け、時間を置いて頂いた後、しっかりとすすぐだけ。

毎日漂白をする必要があるお客様には是非とも此方のテルロンブリーチ5がおススメです！

FCCオリジナルエコ商品の販売や、衛生に関する
お客ブログなどもあります！

気になる方は

www.seiwa.co.jp

検索